

# この夏、哲学をはじめよう

第46回

## 夏期哲学講座

2026 8 | 22 土 13:30 - 23 日 16:10



人はどこから来てどこへ行くのか――

あなたの周りには、哲学する場があるでしょうか  
哲学について考え、語り合う場があるでしょうか

今年で四十六年目を迎えるこの夏期哲学講座は  
直に人と出会い、人と対話して、  
生きた哲学を学ぶことのできる講座です。

「少し興味があります」という方から  
「長年、哲学を勉強しています」という方まで、  
どなたでも参加できます。

場所は、日本最初の哲学者・西田幾多郎の故郷  
日本海をのぞむ「哲学の博物館」  
安藤忠雄が設計した、考えるための空間です。



### 石川県 西田幾多郎記念哲学館

Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126

石川県かほく市内日角井1番地

TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320

Email nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

<https://www.nishidatetsugakukan.org/>

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

#### 交通アクセス

- 車利用：北陸自動車道「金沢東I.C.」～約20分  
のと里山海道「白尾I.C.」～約5分
- 電車利用：JR金沢駅～IRいしかわ鉄道経由・  
七尾線(約25分)～宇野気駅

- 日時 令和8年8月22日(土) 13:30 ~ 23日(日) 16:10  
■会場 石川県西田幾多郎記念哲学館(石川県かほく市内日角井1番地)  
■定員 40名 ※定員に達し次第締め切り、キャンセル待ち受付となります。  
■受講資格 18歳以上

- 受講料 [一般] 10,000円 [学生/かほく市民] 6,000円  
※23日の昼食がつきます。  
※学生割引については、科目等履修生(聴講生)は対象外とさせていただきます。

- 懇親会 22日18時より、下記会場で懇親会を行います。参加希望の方は、懇親会費5,800円を、受講料とともにお振込みください。

食楽庵かほくさんまる [JR宇野気駅から徒歩5分]

#### ■宿泊方法

- ◎ 旅館 旅館は各自でご予約ください。参考までに、宇野気駅最寄りの宿名と電話番号を記載しますので、よろしければご利用ください。詳細は、直接宿にお問い合わせください。

なごみ亭(旧さか井や旅館) 076-283-5550 [JR宇野気駅から徒歩1分]

#### ■交通アクセス

哲学館がある「かほく市」は、能登半島の根元、金沢市より20km北に位置します。

- ・自動車:北陸自動車道(金沢東IC)から、国道159号線で七尾方面へ約20分。  
のと里山海道(白尾IC)から約5分。
- ・電車:JR金沢駅から、IRいしかわ鉄道経由・七尾線で宇野気駅へ約25分。  
宇野気駅から徒歩約20分(タクシー5分)。
- ・飛行機:小松空港から空港バスで金沢駅まで約50分。金沢駅からは同上。

- ◎ 宇野気駅から哲学館まで、講座期間中は下記の無料送迎バスをご用意いたします。時間の都合が合うようでしたらご利用ください。

	[行き] 宇野気駅発	[帰り] 哲学館発
22日(土)	12:05、13:05	17:30
23日(日)	8:30	16:30

※バスの発着場所は、宇野気駅正面東口(銅像側)になります。  
時刻が変更となる場合は、講座中にお知らせします。

- 申込締切 令和8年7月31日(金)  
※定員に達し次第締め切り、キャンセル待ち受付となります。  
※受講料・懇親会費の締切後のキャンセル返金はいたしかねますので、ご了承ください。

#### ■申込先、お問合せ

石川県西田幾多郎記念哲学館  
〒929-1126 石川県かほく市内日角井1番地  
TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320  
E-mail: nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

申込受付後に参加案内を郵送いたします。申込後、二週間以内に参加案内が届かない場合は、電話かFAXでお問い合わせください。Emailの返信が一週間以上ない場合も、同様にお問い合わせください。

## ■ 申込方法

下記①～⑬の項目を、全てご記入の上、哲学館までお申し込みください(郵送、メール、FAX可)。  
 申込受付後に、振込用紙をお送りいたします。 (\*マークは、いずれかをご記入ください)

- ①名前(ふりがな) ②電話番号 ※講座開始までの間に、必ず連絡がとれる番号をお知らせください。
- ③メールアドレス ④郵便番号・住所 ⑤性別 ⑥年齢 ⑦参加回数
- ⑧職業 ※学生の方は、学生証のコピーを添付してください。
- ⑨「宇野気駅～哲学館」の無料送迎バスを \*利用する／利用しない
- ⑩参加を希望する研究会を選択してください。(下記参照)  
 ○(22日)研究会Ⅰ…… \*第1希望 A / B / C、 \*第2希望 A / B / C  
 ○(23日)研究会Ⅱ…… \*第1希望 A / B / C、 \*第2希望 A / B / C  
 ※教室の人数調整上、第2希望を受講していただくことがありますので、ご了承ください。
- ⑪最近興味のある事・本、参加動機などを100字程度でお書きください(受講生に配布する冊子に掲載します)。
- ⑫22日の懇親会に \*参加する／参加しない
- ⑬当日写真のSNS・機関紙への掲載 \*可／不可

※上記項目のうち、都道府県および①⑦⑩⑪は、受講生に配布する冊子に掲載させていただきますのでご了承ください。  
 また、この個人情報は、哲学館で開催される講座に関する当人へのご連絡以外の目的には使用いたしません。

◇受講生による研究発表が23日にあります。発表を希望される方はテーマをお知らせください。  
 ※発表時間はお一人15分以内となります。希望者が多い場合はお断りすることがありますのでご了承ください。

	講師	8月22日(土) 研究会Ⅰ	8月23日(日) 研究会Ⅱ
A	秋富 克哉	生命とは何か—木村敏に定位して	ハイデッガー哲学と田辺哲学
	講師のコメント	現在さまざまな観点から生命が問題になっています。本研究会では、独自の精神医学的立場からこの主題に切り込んだ木村敏の立論を手がかりにしつつ、決して対象化することのできない生命について考えたいと思います。	田辺元にとって、ハイデッガーとの対決は生涯を貫く課題でした。本研究会では、ハイデッガー哲学についての本邦初の本格論文、および『存在と時間』をはじめ前期思想との対決をもとに、田辺哲学の展開を考察します。
B	藤田 尚志	西田とベルクソンにおける「場所の論理」	認知症の哲学 —分析哲学とベルクソン哲学の観点から—
	講師のコメント	西田哲学の重要な柱の一つである「場所の論理」。「空間」を退けた哲学者として有名なベルクソンもまた、実は「場所」についての思索を展開していました。みなさんとともに二人の思索を追いかけてみたいと思います。	当事者や家族、友人たちを戸惑いと苦しみの渦に巻き込む認知症。長寿ゆえの爆発的な広がりを見せるこの現代的な病について、記憶の哲学の二大潮流である分析哲学とベルクソン哲学の観点から迫ってみたいと思います。
C	末永 絵里子	西田幾多郎と身体の問題 —20世紀フランス哲学の視座から①	西田幾多郎と悪の問題 —20世紀フランス哲学の視座から②
	講師のコメント	西田は終生、経験に基づく実感、とりわけ自らの身体を通じて得られた感覚を裏切ることなく哲学し続けました。西田における身体と学知の関係を、ベルクソン、メルロ＝ポンティ、レヴィナスを手がかりに考察します。	西田にとって悪(過ちや災い)は自己が問いと化す出来事であり、この矛盾を掘り下げの中で他者に出遭わせるものでした。西田における悪と宗教(心)の関係を、カミュ、リクール、レヴィナスを手がかりに考察します。

## 第 46 回夏期哲学講座 日程と講座内容

時間	8月22日(土)	8月23日(日)
9:00	*受付は随時行います。 受講生は受付後、展示室への入室ができます。	研究会Ⅱ (選択制)
10:00		
11:00		
12:00		
12:30	ビデオ上映「西田幾多郎」 <small>(希望者のみ)</small>	昼食
13:00	開講式	研究発表
13:30	オリエンテーション・写真撮影	休憩
13:45	研究会Ⅰ (選択制)	公開講演会
14:00		閉講式
14:15		
15:00		
16:00	懇親会 <small>(希望者のみ)</small>	
17:00		
17:15		
18:00		
18:00		
19:50		

### 公開講演会

※受講生以外も聴講できます。(参加費 500 円)

8/23 (日) 14:00 ~

### ポイエシスとしての生命

秋富 克哉 (京都工芸繊維大学教授)

「生命」は、西田哲学の展開を通して深められていく主題の一つです。本講演では、1930年代の思想を軸に、歴史的な生命やポイエシスなどの内実を考察しながら、その独自の生命論の現代的意義を検討する予定です。

## 講演会・研究会講師プロフィール

### 秋富 克哉 (あきとみ かつや)

京都工芸繊維大学教授。京都大学で学ぶ。専門は現象学、京都学派哲学。著書『芸術と技術 ハイデッガーの問い』、『原初から／への思索—西田幾多郎とハイデッガー—』、『ハイデッガーとギリシア悲劇』共編著『ハイデッガー読本』『続・ハイデッガー読本』『越境する知としての西田哲学』等。西田哲学会理事。

### 藤田 尚志 (ふじた ひさし)

京都工芸繊維大学教授。京都大学、東京大学で学んだ後、F. ヴォルムスに師事しフランス・リール第三大学で博士号取得。専門はフランス近現代哲学。著書に『ベルクソン 反時代的哲学』など。訳書にベルクソン『記憶理論の歴史』など。日仏哲学会理事、国際ベルクソン学会編集委員。

### 末永 絵里子 (すえなが えりこ)

一橋大学言語社会研究科講師。京都大学、パリ第10大学で学ぶ。専門は現代フランス哲学。論文に「ポール・リクール「宗教的自由の解釈学」構想におけるカント宗教論の位置と役割」、「レヴィナスの現象学的方法—無限なるものの具体化〔仏語〕」等、訳書に『ルネ・ジラール』。